

日時：2013 年 7 月 7 日(日) 13:10-13:40

場所：麻布大学 8 号館 7 F 百周年記念ホール

議長：伊藤哲郎

I. 議長推薦

推薦により、伊藤哲郎氏が選出された。

II. 下記の議事について報告された。(敬称略)

【報告事項】

1. 事業報告(石田会長)

1) 会員数(2013 年 3 月 31 日現在)

正会員：2043 名 準会員：17 名 名誉会員：1 名 会員合計：2061 名 賛助会員：13 社

2) 第 7・8 回学会報告

第 7 回学会

正会員：497 名、準会員：3 名、非会員：29 名、学生：54 名、

講師他：53 名(含むアルバイト 17 名)、関係者：23 名、参加者合計：659 名

第 8 回学会

正会員：419 名、準会員：6 名、非会員：34 名、学生：11 名、

講師他：58 名(含むアルバイト 11 名)、関係者：29 名、参加者合計：557 名

2. 各委員会・部会報告

<学会運営に関する委員会>

1) 学会企画委員会：古川委員長

・アンケート実施に関して 学会場で参加者に用紙を配布し、学会企画に反映したく集計を行う。

2) 学会雑誌編集委員会：藤田委員長

・雑誌 Vol. 4 No. 1 を発刊済み。No. 2 は短報の投稿状況により可能である。

・編集委員組織変更あり。委員は、皆上、浅野、賀川、鈴木、高木、中山、日高、細谷、圓尾となる。

3) 認定医認定委員会：藤田委員長

・7/7(日) 認定医Ⅱ種試験 187 名、1 種一次試験実施予定 26 名

・10/14(月・祝) 認定医 1 種 2 次試験 麻布大学にて 10 名を予定している。

・2 種試験対応の腫瘍学テキストが完成したが、正誤表が多かったこと、重複部分が多く見られたため、改訂を見据えて次期へ報告をする。

4) 専門医制度実行委員会：南委員長

・特に無し。

5) JONCOL 編集委員会

- ・ 15号（信田前会長監修）発行予定に関して（信田前会長）
進捗は初校が完了し、印刷に入っている。内容は2013年1月学会企画を反映したものである。
- ・ JONGOL 電子版（会員特典の変更：資料1）（信田前会長）
2013年9月発刊分より電子版にて会員配布する。紙媒体での配布はなし。ただし、2013年9月および2014年9月分まではDVD等を郵送で配布も行う。ダウンロードする場合は、学会HPからメールアドレスの登録をし、1人5回までダウンロードが可能となる。
なお、印刷済みの雑誌を会員が購入する場合は本体価格20%であったが、2013年9月からは本体価格の30%割引で販売する。
- ・ 16号の企画編集に関して（井上委員長）
第9回学会企画をメインに企画編集段階に入った。

3. その他

1) 渉外・広報担当（武信理事・広報渉外担当）

- ・ 2013年9月の日本獣医臨床フォーラムの後援依頼があり、承諾した。

2) その他

- ・ 事務局の業務委託先変更（石田会長）：資料2。
（有）コンパニオン・アニマル・カンパニーが株式会社オフィスフクハラに変更とし、事務局業務を引き継ぐ。事務局請負金額も変更なし。住所変更。
- ・ 今期理事当選の加藤吉男氏が2013年3月末にて退会したため、理事1名が減った。
（信田理事）

【審議事項】

- 1) 2012年度日本獣医がん学会収支決算報告（信田前会長）
 - ・ 収支決算報告：資料3
 - ・ 参考資料「前期執行部実績報告」
- 2) 2012年度日本獣医がん学会：会計監査報告（堀前会計監査）
 - 1) 2) について一括承認された。
- 3) 今後4年間の学会メインテーマ（石田会長）：資料5
 - ・ 国内の臨床獣医師が興味を持つであろう、そして、疾病統計も加えて検討した。
→ 承認された。
- 4) 第10回日本獣医がん学会(大阪)開催に関して（石田会長）：資料6
 - ・ 2014年1月25日（土）・26日（日）ホテルニューオータニ大阪
 - ・ 収支予想 会場代 560万円＋人件費＋制作費等 600万円の赤字予測
利便性を高め、企業展示を増やし、参加者増を見込み、参加費の値上げはしない。
→ 承認された。
- 5) 第11回日本獣医がん学会(東京)開催（石田会長）：資料7
 - ・ 東京コンベンションホールでの開催をする。
→ 承認された。
- 6) 2013～2017年度のタイムスケジュール（石田会長）：資料8

- ・スケジュールの説明。現執行部発足よりも半年早い予定を組んでいる。
→ 承認された。

6) JFVSS（日本獣医学専門医奨学基金）への出資（石田会長）

- ・一般社団法人 JFVSS を設立し、企業・学会等から寄付金を募り、奨学金とする。留学生はコロラド州立大学の修士2年を受け入れられ、毎年1名は特別枠のレジデントとして採用が確約され、年間の300万円の学費・生活費をサポートする。5年間で1500万円を要する。2013年9月スタートする。本学会では30万円/年のサポートをする。

7) JFVSS 出資を受けての補正予算案（石田会長）：資料9

- 6)、7)を一括して承認された。

8) 世界獣医がん学会に関して（石田会長）

- ・世界獣医がん学会を日本での開催に際し、本学会が受け入れ母体となってほしい。
- ・4年に1度、2月頃開催予定。2020年2月第4回大会候補地として日本開催を計画。
- ・本年8月に意思表示、同年10月（VCS）にて誘致プレゼンを行う必要がある。12月には開催地が決定される。
- ・会計収支はどのようになっているのか明確でないため、収支の問題が解消すれば参加表明をし、細部の会計収支に関しては情報を得た段階で持ち回り理事会を行い、理事に一任とする。
→ 承認された。

以上。